
「ララ、リリ、クリスティーナ
あなたたちの将来の夢はなんですか？」
「ご主人様専用のおちんぽ奴隷です♥」
「ご主人様専用のおちんぽ奴隷です♥」
「ご主人様専用のおちんぽ奴隷です♥」
「みんないい子ですね
私たちメスはご主人様の所有物ですから」


「リリとクリスティーナはお腹にいた頃から
ご主人様の濃厚ザーメンが大好きですもんね」
「私、生まれたときにもお迎えオチンポ
してもらったもの♥」
「い、いなぁ……」
「それじゃあ淑女の嗜みのお勉強です」


「いいですか？」
「自分たちが気持ちよくなることより
ご主人様に気持ちよく使っていただくことを
第一に考えるんです」
「はい♥」
「はい♥」
「はい♥」
「方法は、自由です♥
浅ましく、おちんぽをおねだりしましょう♥
こうやって……
ぐちょぐちょのおまんこを拡げたり……♥
言葉で興奮を煽るのも大切です♥」
「ご主人様ぁ♥
子持ち人妻のおまんこで
ルディの粗チンとは比べものにもならない
ご主人様のデカチンポにご奉仕させてください♥」

「あぁ♥　ご主人様のオチンポ
いつ見てもすごいです♥
逞しすぎて子宮が降りてきちゃいます♥」

「ごくっ……♥」

「すご い……♥」

「パパや兄さんの粗チンとは大違いです♥」


「ん、ほっ、おぉっ♥
挿入って、キてっ♥　おっ♥
わた、ひのっ♥　キツキツおまんこっ♥
ご主人様の、おちんぽでっ♥　いっぱいにいっ♥」
「青ママばっかりズルい！」
「私もデカチンポ欲しいです♥」
「私だって……」
「らめ、れすよぉっ♥
あなっ♥　たち、にはぁ♥
まら、はやいれすっ♥
このおちんぽはぁ♥　私のっ♥
おんっ♥　おほっ♥
んおおおっ♥♥」

























